

平成29年度当初予算に盛り込まれた

合併建設計画掲載事業

本計画は、平成13年度の大船渡市と三陸町との合併に際して、新市として速やかな一体化を推進し、住民福祉の一層の向上を図るとともに、三陸沿岸地域の拠点都市としての機能強化を図ることを目的として策定されたものです。

計画期間は、当初、平成14年度から平成23年度までの10年間でしたが、その後、国の制度改正を受け、平成33年度まで延長しています。

計画に掲載された事業の財源について、国から有利な財政支援が受けられ、平成28年度までに165事業に着手しています。

(単位：千円)

大綱区分	予算額
豊かさを実感できる都市環境づくり	5,375,469
魅力と活力あふれる地域産業づくり	514,910
文化の香り高い生涯学習のまちづくり	415,930
合計	6,306,309

■豊かさを実感できる都市環境づくり

区分	事業名	予算額
港湾整備	港湾整備事業	61,000
庁舎整備	庁舎改修事業	150,000
生活道路整備	猪川保育園線道路改良事業 小壁線道路改良事業 猿石線道路改良事業 吉浜漁港線道路改良事業 大船渡北小学校前線改良事業 清水山手線道路改良事業 甫嶺横断線道路新設事業 浦浜川東側添線道路改良事業 開墾線道路改良事業(ほか5路線)	2,428,042
上水道整備	水道施設整備事業	474,420
	建設改良に伴う施設整備事業	391,000
	綾里簡易水道施設整備事業	35,000
下水道整備	浄化槽設置整備事業	98,472
	蛸ノ浦漁業集落排水施設維持管理【赤崎町】 公共下水道事業【赤崎町、猪川町ほか】	19,249 1,594,676
消防・防災施設整備	消防ポンプ自動車更新事業【6分団1部】	20,080
	防災施設整備事業(防火水槽)	11,000
	防災施設整備事業(防災行政無線) 消防センター整備事業	6,000 34,090
交通安全施設整備	通学路整備事業	52,440

■魅力と活力あふれる地域産業づくり

区分	事業名	予算額
漁業生産基盤整備	県営漁港整備事業(漁港整備事業費負担金)	55,500
	大船渡湾干潟造成事業	356,160
	アワビ増殖事業	2,900
漁業集落環境整備	漁場環境保全事業	2,500
	漁業集落環境整備事業【三陸町越喜来】	65,000
林業生産基盤整備	流域森林総合整備事業	20,000
就労環境整備	豊かな海を育む大きな森づくり事業	700
	雇用促進奨励支援事業	6,150
地場産業振興	産・学・官連携交流促進事業	6,000

■文化の香り高い生涯学習のまちづくり

区分	事業名	予算額
学校施設整備	義務教育施設整備事業(コンピュータ)【小学校・中学校】	83,280
社会教育施設整備	博物館施設改修事業	31,800
	赤崎地区公民館整備事業	300,850

※予算額には、前年度の繰り越し分を含みます。
▷問い合わせ先＝企画調整課企画係(☎内線229)



大船渡港湾口防波堤が完成しました



【事業概要】
▷事業名＝大船渡港湾口防波堤災害復旧事業
▷事業者＝国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所
▷事業期間＝平成24年1月～平成29年3月
▷防波堤概要＝防波堤延長736m(北堤244m、南堤291m、開口部201m)、防波堤天端高+11.3m、開口部水深-16.0m

復旧工事が完了

東日本大震災の津波で倒壊し、国が復旧工事を進めていた大船渡港湾口防波堤が平成29年3月に完成しました。



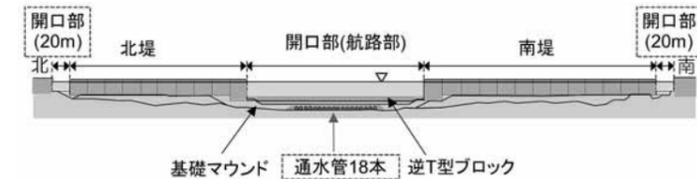
復旧工事の様子

湾口防波堤などの港湾施設の復旧にあたっては、大船渡港復興会議において地域の意見を集約しながら、港湾機能の早期かつ適切な回復「まちづくりと連携した津波防災機能の確保」といった復旧方針のもと工事が進められました。新たに完成した大船渡港湾口防波堤は、防災施設の要として、安心安全な中心市街地の形成など、魅力あふれる新

湾内環境への配慮

大船渡湾においては、閉鎖的な湾の形状から水質環境への配慮が重要です。

津波防護機能に極力影響を与えず、湾内外の海水交換が可能となるように、開口部の基礎マウンド内に通水管を設けました。また、防波堤の高さが11.3mで、航路部においては、小型船の視認性悪化が懸念されたことから、小型船の航路確保と海水交換を行うために防波堤の両端に幅20mの開



たなまちづくりや豊かな市民活動に大きく寄与してくれま

構造と復旧の効果

震災前の湾口防波堤は、昭和35年チリ地震津波を想定して整備されていました。

今回の復旧では、より被害が大きく数十年から百数十年に一度発生が見込まれる明治三陸地震規模の津波に耐えることができるよう設計を見直し、併せて東日本大震災規模の津波にも粘り強く抵抗して、市街地への浸水を抑制することができるとなっています。さらに防波堤と防潮堤の多重防護によって、大船渡港の津波防災力の向上が期待できます。

津波発生時は高台へ避難を

湾口防波堤は、高い安全性を確保してくれるものの、津波発生時には、速やかに高台へ避難しましょう。また、防波堤の高さは東日本大震災以前よりも高くなっており、見通しが悪いため、海上衝突予防法、港則法などの関係法令を守り、事故防止に十分注意しましょう。